

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	教育芸術社		
副 教 材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (音楽) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていける態度を養う。
評価の観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	○実技テスト、ワークシートの内容(知識・技能) ○表現・創意工夫・鑑賞ワークシートの内容(思考・判断・表現) ○期末テスト(知識・技能) ○授業への取り組み姿勢の観察、自己評価カードの内容・プリントなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度)

2 (音楽) 科の学習について

進授業方の	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
テスト	○定期テストは全3回(各学期1回) ○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

3 年間指導計画（その①）

4, 5月	単元名(題材名)	校歌、We'll Find The Way		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト 筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 実技、筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	5月、テスト時	5月、テスト時	4, 5月	
5月	単元名(題材名)	主人は冷たい土の中に		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	5月、テスト時	5月	
5, 6月	単元名(題材名)	アルトリコーダー導入、喜びの歌、かっこう		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	実技テスト 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	テスト時	5, 6月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	春		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	6月、テスト時	6月	
7月	単元名(題材名)	合唱曲の選曲、合唱曲		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	6～10月	6～10月	
8月	単元名(題材名)	魔王		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	8月、テスト時	8月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

8, 9, 10月	単元名(題材名)	学級合唱曲		指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	6～10月	6～10月	
10月	単元名(題材名)	赤とんぼ(共通教材)		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	10月、テスト時	10月	
11月	単元名(題材名)	箏曲「六段の調」		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	11月、テスト時	11月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

11, 12月	単元名(題材名)	さんぽ道、オーラリー		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	実技テスト 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	12月	12月、テスト時	11, 12月	
1月	単元名(題材名)	雅楽「越天楽」		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	1月、テスト時	1月	
1, 2月	単元名(題材名)	アニーローリー		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒観察	生徒観察	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1, 2月	1, 2月	1, 2月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

2月	単元名(題材名)	リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	発表	音楽ワーク ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	2月	2月	2月	
2,3月	単元名(題材名)	日本の民謡、アジアの諸民族の音楽		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒観察	音楽ワーク ワークシート	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	2,3月	2,3月	2,3月	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	教育芸術社		
副 教 材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (音楽) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
評価の観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	○実技テスト、ワークシートの内容(知識・技能) ○表現・創意工夫・鑑賞ワークシートの内容(思考・判断・表現) ○期末テスト(知識・技能) ○授業への取り組み姿勢の観察、自己評価カードの内容・プリントなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度)

2 (音楽) 科の学習について

進授業方の	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
テスト	○定期テストは全3回(各学期1回) ○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

3 年間指導計画（その①）

4, 5月	単元名(題材名)	夢の世界を		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	音色,リズム,テクスチャ,構成を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち,音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	4月、テスト時	4月	
4月	単元名(題材名)	Let's Create!		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	音素材の特徴及び音の重なり方や反復,変化,対照などの構成上の特徴について,表したいイメージと関わらせて理解している。	リズム,テクスチャ,構成を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	音素材の特徴及び音の重なり方や反復,変化,対照などの構成上の特徴に関心をもち,音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 発表	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	4月	4月	
5月	単元名(題材名)	つばさをください		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし,全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け,歌唱で表している。	リズム,テクスチャ,構成を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち,音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト 筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 実技、筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	5月、テスト時	5月、テスト時	5月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

5, 6月	単元名（題材名）	虹の彼方に		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	実技テスト 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	6月	テスト時	5, 6月	
6月	単元名（題材名）	交響曲第5番 ハ短調		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	6月、テスト時	6月	
6, 7月	単元名（題材名）	合唱曲の選曲、合唱曲		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	6～10月	6～10月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

8月	単元名(題材名)	夏の思い出(共通教材)		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	8月、テスト時	8月	
9月	単元名(題材名)	「アイーダ」から		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	9月、テスト時	9月	
8, 9, 10月	単元名(題材名)	学級合唱曲		指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	6～10月	6～10月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

10月	単元名(題材名)	荒城の月（共通教材）		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	10月、テスト時	10月	
10, 11月	単元名(題材名)	サンタルチア		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	10, 11月、テスト時	10, 11月	
12月	単元名(題材名)	歌舞伎「勘進帳」		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	12月、テスト時	12月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

11, 12, 1月	単元名(題材名)	ラヴァーズコンチェルト		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け, 器楽で表している。	音色, リズム, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり, 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	実技テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1月	1月	11, 12, 1月	
2, 3月	単元名(題材名)	世界の諸民族の音楽		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	諸外国の様々な音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色, リズム, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 音楽表現の共通性や固有性について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	諸外国の様々な音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒観察	音楽ワーク ワークシート	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	2, 3月	2, 3月	2, 3月	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	教育芸術社		
副 教 材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点の3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。			
---	--	--	--

1 (音楽) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
評価の観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	○定期テストは全3回(各学期1回) ○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

2 (音楽) 科の学習について

進授業方の	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気を付け、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
テスト	○定期テストは全3回(各学期1回) ○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

3 年間指導計画（その①）

4, 5月	単元名(題材名)	花、花の街		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。	旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	5月、テスト時	4, 5月	
5月	単元名(題材名)	ブルタバ		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	5月、テスト時	5月	
5, 6月	単元名(題材名)	ラバースコンチェルト		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	実技テスト 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	6月	テスト時	5, 6月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名（題材名）	帰れソレントへ		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。	リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	6月、テスト時	6月	
6, 7月	単元名（題材名）	合唱曲の選曲、合唱曲		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	6～10月	6～10月	
8, 9月	単元名（題材名）	ボレロ		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	9月、テスト時	8, 9月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

8, 9, 10月	単元名(題材名)	学級合唱曲		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	ワークシート グループ活動	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	6～10月	6～10月	
10, 11月	単元名(題材名)	ふるさと		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	実技テスト	実技テスト 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	11月	テスト時	10, 11月	
11, 12月	単元名(題材名)	能「敦盛」、沖縄の先頭芸能「組踊」		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	筆記テスト	音楽ワーク ワークシート 筆記テスト	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	12月、テスト時	11, 12月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

1月	単元名(題材名)	My Melody		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	発表	音楽ワーク ワークシート	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1月	1月	1月	
1, 2, 3月	単元名(題材名)	卒業式合唱曲		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒観察	生徒観察	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1月	1月	1月	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。